

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
病理学	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	小菅 優子 ※
授 業 概 要					
<p>病理学では病気になったときの細胞、組織、臓器の形態的变化を理解する。病理学を形態的に学習する際に解剖学、生理学との関連、病理細胞検査学との関連を学ぶ。特に、臨床検査技師国家試験で重視される項目は重点を置いて理解する。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・臨床検査に必要な病理学的知識を身に付ける。 ・病因の種類と組織傷害について理解する。 ・代謝障害について理解する。 ・循環障害について理解する。 ・炎症について理解する。 ・腫瘍について理解する。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1	序論、先天性異常：疾病とその分類、病因、奇形、染色体異常と先天性疾患				小菅 優子 ※
2	細胞傷害の機序と適応：変性、壊死、萎縮				
3	細胞傷害の機序と適応：肥大、過形成、再生、化生、創傷治癒				
4	物質代謝異常：糖質代謝異常、蛋白質・アミノ酸代謝異常、脂質代謝異常				
5	物質代謝異常：生体色素代謝異常、無機物代謝異常				
6	循環障害：虚血、充血、うっ血、出血、				
7	循環障害：血栓症、塞栓症、梗塞				
8	循環障害：浮腫、傍側循環、ショック				
9	炎症：炎症の原因、				
10	炎症：炎症の形態的経過と転帰				
11	炎症：炎症の諸型				
12	腫瘍：定義、肉眼形態、進展様式				
13	腫瘍：良性と悪性、上皮性と非上皮性				
14	腫瘍：異型性、発生母組織、分類、転移				
15	腫瘍：病期、発癌因子、癌遺伝子、癌抑制遺伝子				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や配布資料により予習と復習をすると理解が深まる。 ・講義は教科書及び配布資料をもとに実施し、適宜、視聴覚教材を用いて講義する。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・講義開始時又は終了時に小テストを実施する。 ・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 ・定期試験（70%）及び小テスト（30%）により評価する。 ・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
<p>[教科書] 臨床検査学講座 病理学／病理検査学 松原 修 他 医歯薬出版株式会社</p>					